



企業活動

2019年6月25日

Press Information

## 文化・芸術支援活動「メルセデス・ベンツアート・スコープ 2018-2020」 小泉 明郎氏を招待出品作家に選出

- ・ 「メルセデス・ベンツアート・スコープ2018-2020」全アーティスト3名が決定
- ・ 7月6日(土)、ハリス・エパミノンダ氏(「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」で銀獅子賞を受賞)によるアーティストトークを開催

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下MBJ、社長:上野 金太郎、本社:東京都品川区)は、1991年より継続する文化・芸術支援活動「メルセデス・ベンツアート・スコープ」の2018-2020年度の招待出品作家として、小泉 明郎氏を選出したことを発表しました。これにより、「メルセデス・ベンツアート・スコープ 2018-2020」の全アーティスト3名が以下の通り決定しました。

### <「メルセデス・ベンツアート・スコープ 2018-2020」アーティスト>

#### 「メルセデス・ベンツアート・スコープ 2018-2020」受賞アーティスト

- ・久門 剛史 (2018年 ドイツ・ベルリンに派遣)
- ・ハリス・エパミノンダ (2019年 東京に招聘中)

#### 招待出品作家

- ・小泉 明郎 (過去の受賞アーティストより選出)

「アート・スコープ」は1991年に始まり、27年間継続しているMBJ及びグループ企業による先駆的な文化・芸術支援活動です。2003年からは原美術館とのパートナーシップのもと実施されており、2015年に名称を「メルセデス・ベンツアート・スコープ」に変更し、メルセデス・ベンツブランドと更に連携して活動しています。

本プログラムは、現代美術の有望な若手アーティストの育成と、国際交流を促進することを目的とした滞在プログラム(アーティスト・イン・レジデンスプログラム<sup>\*1</sup>)で、日独間でアーティストを相互に派遣・招聘し、異文化での生活体験、創作活動を通じて交流を図ります。異国での滞在を終えたアーティストは、原美術館で開催される展覧会で成果を発表します。また、過去の受賞アーティストの中から招待出品作家として各回1名を選出し、展覧会参加等の支援を通じ、メセナ活動の先駆者としての役割を果たしてまいります。

さらに、7月6日(土)、現在日本に滞在中のハリス・エパミノンダ氏のアーティストトークを、原美術館にて開催いたします。エパミノンダ氏のこれまでの活動や日本滞在について、「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」企画参加アーティスト部門で銀獅子賞を受賞した感想などを通じ、作品への理解を深めていただける、またとない機会となっております。

MBJは今後も、メルセデスの魅力を余すところなくお伝えし、皆様に選ばれ、最も愛されるブランドを目指して邁進して参ります。

<sup>\*1</sup> NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]の協力のもと実施。

## <アーティストプロフィール>

### ・久門 剛史(ひさかど つよし)

2007 年京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修了。様々な現象や歴史を採取し、音や光、立体を用いて個々の記憶や物語と再会させる劇場的空間を創出する。近年の主な展覧会に、個展「MoCA Pavilion Special Project Tsuyoshi Hisakado」(上海当代芸術館、2016 年)、グループ展「アジア回廊」(京都二条城、2017 年)、「あいちトリエンナーレ 2016」、「MAM プロジェクト 025: アピチャップン・ウィーラセタクン+久門剛史」(森美術館、2018 年)、第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ「May You Live in Interesting Times」(ヴェネチア、2019 年)など。2020 年 3 月には豊田市美術館で国内初の大規模な個展を開催予定。世界各国で上演されたチェルフィッチュ『部屋に流れる時間の旅』(2016)の舞台美術と音を担当するなど活躍の場を広げている。主な賞歴に「日産アートアワード 2015」ファイナリスト/オーディエンス賞、VOCA 賞(2016 年)、平成 28 年度京都市新人賞。平成 28 年度文化庁「東アジア文化交流使」、平成 27 年度京都市芸術文化特別奨励者。



"Gale", 2017



"Pause", 2016

### ・ハリス・エパミノンダ

1980年キプロスのニコシア出身。ベルリン在住。イギリス・ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートとキングストン大学で学ぶ。2013年、ドイツ「国立美術館賞」の最終候補作家4名のひとりにノミネート。2007年の第52回ヴェネチア・ビエンナーレにはキプロス代表として出品したほか、2019年の第58回ヴェネチア・ビエンナーレ「May You Live in Interesting Times」で発表した作品は、企画参加アーティスト部門で銀獅子賞を受賞した。その他にもベルリンビエンナーレ(2008年)やドイツ・カッセルの大型国際展「ドクメンタ14」(2017年)など多くの国際展に出品。日本では森美術館のグループ展「万華鏡の視覚」(2009年)に出品した。



Photo by Javier Folkenborn

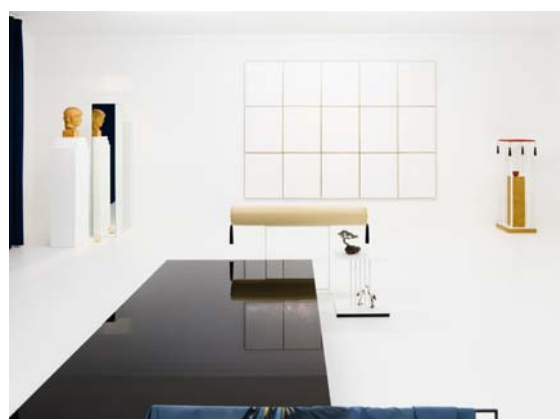


"VOL. XXVII", 2019

※「第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」  
銀獅子賞受賞作品

Photo © Andrea Avezzi

Courtesy: La Biennale di Venezia 58th International Art Exhibition  
- La Biennale di Venezia, May You Live In Interesting Times



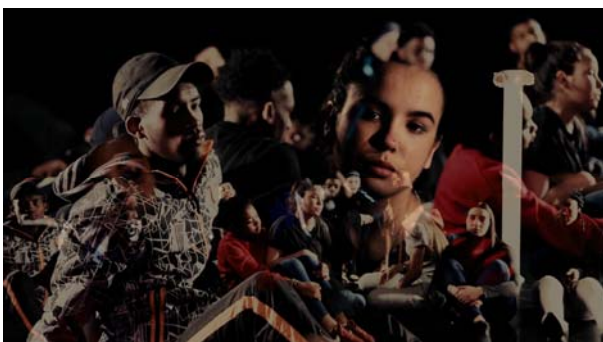
"VOL. XXIII", 2018

・小泉 明郎(こいずみ めいろう)

1976年群馬県生まれ。横浜市在住。国際基督教大学卒業後、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン(ロンドン)にて映像表現を学ぶ。現在は国内外で滞在制作し映像やパフォーマンスによる作品を発表している。主な個展に「バトルランズ」ペレズ・アート・ミュージアム・マイアミ(2018年)、「捕われた声は静寂の夢を見る」アーツ前橋(2015年)、「Project Series 99: Meiro Koizumi」ニューヨーク近代美術館(2013年)、「MAM Project 009: 小泉明郎」森美術館(東京、2009年)など。主なグループ展に「シャルジャ・ビエンナーレ14」UAE(2019年)、「上海ビエンナーレ」(2018年)、「境界」メゾンエルメスフォーラム(2015年)、「フューチャー・ジェネレーション・アート・プライズ2012」ピンチュック・アートセンター(2012年)、「アート・スコープ 2009-2011」—インビジブル・メモリーズ」原美術館(2011年)など。作品は世界中の美術館によって收藏されている。

<選考理由> 原美術館によるコメント

今回招待出品作家として選出された小泉明郎氏は、演劇的手法を取り入れた映像作品によって、人間と人間、人間と社会の関係、また言葉と身体関係を浮かび上がらせる作品で知られています。現実と虚構が交差する作品世界は、時にユーモラスに、時に見る者の立ち位置を揺るがし、居心地の悪さや戸惑いを与えます。「アート・スコープ」参加以降、アーティストとしての活躍が顕著であり、また今回の受賞二氏が空間を生かしたインスタレーションを持ち味とするのに対して、映像を強みとする小泉氏が加わることによって、展示に広がり期待できることから選出に至りました。



"New Breath just After the Tempest", 2018



"Sacrifice", 2018

<アーティストトーク 概要>

日時 : 2019年7月6日(土) 14:00-15:30

場所 : 原美術館 ザ・ホールにて

出演者 : ハリス・エパミノンダ

イベント参加費: 無料(要入館料)

参加方法: 予約制、申し込み先着順となります。

電話(03-3445-0651)またはEメールにてお申し込みください。

Eメールの場合、件名に「7/6アーティストトーク」、本文に氏名、電話番号(日中繋がる番号)、参加人数、原美術館メンバーの方は会員番号をお書き添えの上、event@haramuseum.or.jpまでお送りください。

※原美術館からの返信をもち予約完了とします。4日以内に返信の無い場合はお問い合わせください。

The logo for Mercedes-Benz Art Scope is displayed in a large, bold, sans-serif font. The text is arranged in two lines: "MERCEDES-BENZ" on the top line and "ART SCOPE" on the bottom line. The letters are black with a white, grid-like pattern overlaid on them, creating a modern, digital aesthetic. The entire logo is set against a light beige background.